

第五回 新丹波猿楽座特別公演「ようこそお茶の国丹波へ」第二弾 スペクタクル新作能「貂の皮」×甲冑隊 in 丹波

番組

演目について

春日戦国太鼓

黒井おどり (黒井音頭)

解説 上田敦史

新作能 貂ノ皮 司馬遼太郎「貂の皮」より

作者・上田敦史
節付・武富康之
協力・天野文雄(京都芸術大学舞台芸術センター特別教授)

脇坂甚内	林 宗一郎
赤井直正	梅若 基徳
直正の近習	今村 哲朗
老貂	梅若 雄一郎
才丸	松野 浩行
黒井城の兵	山口 彩八子
後見	山口 耕道
	山本 善之
	味方 團
	樹下 千慧
	赤井 要佑
	上田 敦史
小鼓	石井 景之
大鼓	田茂井 廣道
地謡	宮本 茂樹
	河村 和貴
	河村 浩太郎

丹波戦国奇譚、司馬遼太郎の短編小説「貂の皮」をベースに地元で伝承されている「黒井音頭」で語られる少年赤井直正の武勇伝を壮大な新作能に。

<チケット販売について>

【オンラインチケット(推奨)】

下記のQRコードからお買い求めいただけます。



<https://teket.jp/3883/16293>

【紙チケット販売場所】

- ・道の駅 おばあちゃんの里
- ・ゆめタウンサービスカウンター
- ・新・文具館柏原本店 (木曜日休)

お問い合わせ

(黒井城跡地域活性化委員会 吉住)

TEL : 090-1442-8323

MAIL : tamba.noh@gmail.com

時は天正六年、織田信長の命で丹波を攻める明智光秀は天下に名高き武士とうたわれた。赤井悪右衛門直正が守る黒井城攻めに難攻していた。その直正も今や不治の病に侵され、余命幾ばくも無いとの情報を得た羽柴筑前守は後顧の憂いを断ち、無用な被害を出さぬため、家臣脇坂甚内(安治)に「一族助命嘆願と引き換えに急ぎ降伏開城を勧めよ」と命じて、黒井城へと派遣する。しかし直正は甚内の提案を一蹴し、清和源氏の流れを汲む武士としての矜持を語る。甚内はその覚悟の程に感服し、自身も赤井家存続に尽力する事を約束する。直正は感謝し、また単身敵城に乗り込んだできた甚内の勇気を讃え、家宝の「貂の皮の指物(刀の袋)」を与えると言い、その云われを語って聞かせた後、武士らしく自身の槍先にて我が首とこの貂の皮を取って見せよと、翌朝濠際にて相まみえる約束を交わし、甚内を無事に返すのであった。翌朝、手勢を引き連れ再び黒井城にやって来た甚内勢と、城門を開けて打って出る赤井勢の乱戦となる。約束の通り甚内は直正に一騎打ちを挑むが、件の「貂の皮」は脇坂家所蔵の守り神として代々受け継がれ、現在も兵庫県龍野市龍野神社に大切に保管されている。



赤井荻野直正公ゆかりの兵主神社で、子どもから大人まで多くの方に丹波の魅力(歴史・文化)を体感し、楽しんでもらえるスペクタクル新作能イベントです。春日戦国太鼓、黒井おどり、お茶会、パネル展、そして甲冑隊との記念撮影があります。

感染症対策のため全席指定となり、ご購入順にて座席を指定させていただきますので、お早目のご購入をお勧めいたします。写真はイメージであり、実際の衣装とは異なる場合がございます。記録のため撮影スタッフが入ります。ご了承ください。一般の方の撮影・録音は固くお断りします。・マスク着用、手指消毒、検温、記帳、会場内での飲食禁止等の感染予防にご協力をお願いします。